

# 周術期に休薬が必要な糖尿病治療薬

ビグアナイド薬・・・乳酸アシドーシスのリスク  
SGLT2阻害薬・・・正常血糖ケトアシドーシスのリスク

## 【対象患者】

手術室で手術または消化器内科のESD<sup>※1</sup>、ERCP<sup>※2</sup>を受ける予定入院の患者

ただし、歯科・眼科・皮膚科・整形外科（局所麻酔）は除く

※1 ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術） ※2 ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）

分類	薬剤名	成分名	休薬期間
ビグアナイド薬	メトグルコ <sup>®</sup>	メトホルミン	原則として <b>手術2日前から休薬</b> する (緊急手術時は除く)  食事摂取が可能になってから再開する (判断が難しい場合は、処方担当医へ要相談)
	グリコラン <sup>®</sup>	メトホルミン	
	ジベトス <sup>®</sup>	ブホルミン	
	イニシンク <sup>®</sup> 配合錠	メトホルミン・アログリブチン	
	エクメット <sup>®</sup> 配合錠 (GE)メホビル配合錠	メトホルミン・ビルダグリブチン	
	メタクト <sup>®</sup> 配合錠	メトホルミン・ピオグリタゾン	
	メトアナ <sup>®</sup> 配合錠	メトホルミン・アナグリブチン	
SGLT2阻害薬	カナグル <sup>®</sup>	カナグリフロジン	原則として <b>手術3日前から休薬</b> する (緊急手術時は除く)  食事摂取が可能になってから再開する (判断が難しい場合は、処方担当医へ要相談)
	ジャディアンス <sup>®</sup>	エンバグリフロジン	
	スーグラ <sup>®</sup>	イブラグリフロジン	
	デベルザ <sup>®</sup>	トホグリフロジン	
	フォシーガ <sup>®</sup>	ダパグリフロジン	
	ルセフィ <sup>®</sup>	ルセオグリフロジン	
	カナリア <sup>®</sup> 配合錠	カナグリフロジン・テネリグリブチン	
	スージャヌ <sup>®</sup> 配合錠	イブラグリフロジン・シタグリブチン	
	トラディアンス <sup>®</sup> 配合錠	エンバグリフロジン・リナグリブチン	

ジャディアンス<sup>®</sup>10mgおよびフォシーガ<sup>®</sup>10mgのみ糖尿病以外にも慢性腎不全および慢性心不全の適応あり  
そのため、SGLT2阻害薬の休薬については、糖尿病内科・腎臓内科・循環器内科の3科と協議を行い、一律3日前からの休薬とした  
(心不全治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendationにのみ術前の終日絶食日のみ休薬、と記載あり)